

筆筒地区協議会 平成26年度活動報告

地域と共に取り組む筆筒の緑化

平成26年度の筆筒地区協議会緑化推進分科会は、これまで以上に、地域との連携を深め、緑化活動に取り組んできました。



第15号 筆筒地区協議会

【問合せ】
筆筒地区協議会事務局
(筆筒町特別出張所内)
☎03-3260-1911



学校との連携



平成26年11月18日(火)に市谷小学校5年生の総合的学習の時間で、粘土団子づくりの出張体験講座を初めて実施しました。

完成した粘土団子は、その後児童たちの手で愛日子ども園やゆったり〜の等に配られ、緑化のきっかけづくりに貢献しています。

住民との連携

平成20年度から継続している、地域緑化のモデルとなる各公園へのモデルガーデンの設置活動も、平成25年度に中町公園に開設したもので3か所目になりました。管理運営は、住民が主体となった公園サポーターが行なっていますが、6月と11月の植替えの際には、地区協議会委員もお手伝いします。



あさひ児童遊園に新しく水道が出来ました！

新宿区みどり公園課や 地域団体との連携



平成23年度に初めて同時開催した「UTCオンステージ」と「たんす緑と花のまちづくりフェア」も、今年で4回目となりました。また、「みどりのカーテンプロジェクト」で採れたゴーヤ等をUTCの「たんすサロン」や「高齢者給食ひまわり」に提供するの、平成22年度から開始して5年目。地域まつりの際の射的やクイズラリーのブース出展とともに、これからも継続していきます。

さらに今年は、新宿区みどり公園課との連携を推し進めました。初めてとなる、地域まつりでの木の枝を使った工作ブースの出展から、新宿区の緑化の現状や筆筒地区での壁面緑化、屋上緑化の取組み等を学ぶ勉強会の開催など、新たな協力関係を築き始めています。





筆筒地区協議会 地域の絆分科会は、「声かけ合おう 向こう三軒両隣」を合言葉に地域の絆づくりを行なう、「地域の絆プロジェクト」を推進しています。平成26年度は、このプロジェクトが大きく発展する年となりました。

みなさま、ご協力ありがとうございました！



今の子どもと昔の子どもが昔あそびで交流します



懐かしい火鉢を囲んでお話の花を咲かせます



協働で育む地域の絆

地域の絆分科会の主事業の一つである「ふれあいひろば」では、9月の「UTCオンステージ&たんす緑と花のまちづくりフェア」の際に、大人たちが子どもの頃に遊んでいた「昔あそび」を、今の子ども達に教える「昔あそびの先生」を募集し、5名の方が参加してくださいました。また、1月の「牛込筆筒地域まつり」の際には、ボランティア4名の他、地域ではちみつ作りをしている方にご協力いただき、ミツバチの巣から採れるミツロウを使った「ロウソクづくり体験」を初めて実施しました。

今年度が3回目の取組みとなる「カーブミラー清掃」では、1月、2月、3月までに、6名のボランティアの方にもご協力していただき、約140本のカーブミラーをきれいに磨きました。



地域の若い力も参加してくれました



ハチミツに誘われて？ロウソクづくりは大人気！

企業、団体とも協力の絆を結びます！

住民だけでなく、地域で活動している団体や企業との絆も育っています。

11月には牛込警察署、牛込交通安全協会、株式会社ホンダカーズ東京中央の協力のもと「大人と子どもの自転車安全運転教室」を実施しました。その際好評だった自転車シミュレーターは、「牛込筆筒地域まつり」にも登場し、来場者に安全な自転車の乗り方を啓発しました。

また、地域まつりの際に実施した「ロウソクづくり体験」の際には、株式会社DNPファシリティサービスから、ロウソクづくりの講師の方が載っている「市谷産！江戸はちみつ」のポスターを提供していただきました。



自転車シミュレーターは実際に足でペダルを踏み、前後左右の安全確認までチェックできます。



大人は警察官による講義、子どもたちは交通安全教育機器で交通ルールを学びます。



交通安全への思い～なぜ自転車教室を実施したのか？～

筆筒地区の小学校では年1回程度交通安全教室を開いていますが、親子や大人と一緒に学ぶ機会が少ないのが現状です。このため、大人から子どもまで、幅広い世代で交通安全への意識が高まり、地域の安全へつながることを願い、今回の教室を実施しました。

